

だれにも当てはまる日常のできごとを
人間味のある、あるがままの目でユーモラスに綴る

CL diary #55

むーらん



7月2日（土）

買い物から帰り、買ったものが入ったバスケットを台所に置いたままにして、しばらく、テレビのニュースを見ていたら、台所のほうから、ガサガサ音がする。何だろうと思って行ったら、バスケットに入っていたドーナツが！袋は破れているし、中のドーナツは食べかけの無残な姿に。ねこがドーナツを食べてしまった。楽しみにしていたのに…。ごめんね、お腹空いてたのか。早くごはんをあげればよかった。

7月16日（土）

夜、母と車に乗っていたとき、私「急に曇ってきたなあ…」母「おまえ、何ゆうてんねん？」「えー？前のガラスが曇ってきたやんか？」「こんな暗いのに、空が曇ってきたなんて、おかしなこと言うなと思ったわ」母と私の噛み合わない会話…。

7月22日（金）

近くの病院で、全身麻酔での、精密検査を受けることになった。全身麻酔なんて初めてで、それから検査の日までは心配で心配で…。麻酔のあと、ずっと目が覚めなかったらどうしようとか、目が覚めても、気分が悪いままだったらどうしようとか、いろいろ考えてしまって。叔母さんに、当日の送迎を頼んだら、「そんな小さい病院で全身麻酔って、大丈夫か？」なんて言われるし、ずっと心配で。

それで、いよいよ今日が検査の日。麻酔の注射をされてからは、ほんやりして、記憶もあいまいだけれど、ちゃんと目も覚めたり、気分が悪いということもなかった。私の心配は、だいたいが取り越し苦労に終わるのだけれど、また同じことがあったら、またとても心配するのだろうな…。

8月25日（木）

職場で、私の前の席に座っている係長のところへ、ほかの課からカメラを借りにきた人がいた。そのあと、係長が席を外しているときに、カメラを返しにこられた。カメラを机に置かれて、係長に伝えておいてくださいね、と。それから、たぶんコーヒーかな？飲み物の入った袋をそっと係長の机の上に置かれた。すてきなシークレットサービス（シークレットじゃないかもしれないけれど）だなと思った。



9月13日（火）

通信販売で見つけて、注文しておいた、かわいいねこの絵の傘が届いた。朝起きて雨がざあざあ降っていると、仕事に行くのが嫌になるけれど。これからは雨が降ったとき、この傘をひろげられるのだ。この傘のおかげでこそしは行動がしやすくなるかな。

9月18日（日）

業者の人人が、インターネットの工事に来られた。知らない男の人が家に入ってきたときの、ねこの反応がおもしろかった。ふだんの行動から、フレンドリーだと思っていた三毛の子がさっとどこかに隠れてしまい、どこにいったか分からなくなつた。恥ずかしがり屋だと思っていた白い子は、このおじさん、誰?なにしているの?みたいにじっと作業を見ている。意外な2匹の行動だった。

9月29日（木）

テレビが壊れた。スイッチを入れてもすぐに電源が切れてしまう。まあ、しばらくテレビがなくても、たいしたことはないだろうと思っていたら、これがかなり不便。朝、出勤前はテレビのニュースを見ながら出かける準備をしていたのだが、テレビがないと、いつものような朝の段取りができない。画面の時間を見るだけでなくて、たとえば天気予報の時間には、これをしている、といったことが身体に染みついていたのだろう。テレビなんて、あって当たり前のものだった。なくなってみて初めて、どれだけお世話になっていたかがわかる。（滋賀県滋賀郡CLインストラクター）

 目次へ戻る